

「親子で 花山に レッツ ゴー！！」

- 1 趣 旨 幼児が、本施設の豊かな自然の中で遊ぶことにより、幼児期に必要とされる多様な動きの獲得、体力・運動能力の基礎を培う機会を提供する。また、保護者に対して幼児期の運動の重要性について認識する機会を提供する。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家
- 3 共 催 登米市立新田幼稚園
- 4 期 日 平成30年11月10日（土）～ 11日（日）【1泊2日】
- 5 場 所 国立花山青少年自然の家
- 6 対 象 登米市立新田幼稚園の園児と保護者（貸切バス送迎）
園児：16名 保護者：16名 引率教員：5名（3名日帰り、2名宿泊）
- 7 日 程

	午前			午後		夜		
【1日目】 11/10 (土)				到着	運動プログラム	夕食	保護者：所長講話 幼 児：ボランティア企画	入浴・就寝
【2日目】 11/11 (日)	朝のつどい	朝食	退所点検		森の探検・自由遊び	退所		

8 活動の内容について

【11月10日（土）1日目】



「リックの森での運動遊び」



「保護者対象所長講話」



「ボランティアお楽しみ企画」

【11月10日（日）2日目】



「親子で自由遊び」



「ネイチャーゲーム」



「リックの森で運動遊び」

9 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

①事業全体

満足：67% やや満足：33% やや不満：0% 不満：0%

保護者16名と引率教員2名に対して行ったアンケートの集計結果は、「満足」と「やや満足」を合わせると100%と全員が満足群の結果となった。総合的にみて非常に好評であったといえる。

②事業内容

ア) 親子で運動プログラム

満足：78% やや満足：22% やや不満：0% 不満：0%

イ) 所長講話

満足：94% やや満足：6% やや不満：0% 不満：0%

ウ) ボランティアお楽しみ企画

満足：83% やや満足：11% やや不満：6% 不満：0%

事業内容のアンケートでは、所長講話の満足度が高く、保護者に対するねらいは達成できたといえる。運動プログラムについても、「満足」「やや満足」合わせて100%であり、非常に好評であったといえる。

(2) 参加者の声

- ・自然を生かした環境の中で、子供がいろいろなことを感じ、遊ぶことができていたと思う。大人も、子供の気持ちに近づくことができたと思う。
- ・ターザンロープしかない森で、どうやって遊ぶのかと思ったけど、子供は帰りたくなさそうにしていた。おもちゃってあんまりいらないなと思った。
- ・初めての森遊び、なかなか体験できないことなので、子供はワクワクした様子でした。ボランティアの助けのおかげで楽しく過ごせました。
- ・普段なかなか子どもと遊ぶ時間がなかったので、よかったです。
- ・子どもにとってもとても良い体験ができたし、私も子供の成長にびっくりさせられました。
- ・友達と一緒に合宿することで、いつも以上にコミュニケーションが取れたと思います。生活のルールも身につくとと思います。
- ・(講話を聞いて) 外部からの刺激が幼児期にどんなに大切なことか勉強になりました。ゲームより楽しい刺激を与えていきたいです。
- ・改めて、外遊びの大切さを感じた。
- ・毎年恒例の行事になればと思います。

(3) 成果

- ・子どもたちにとっては、自然の中で、思いっきり体を動かすことができた。
- ・あえて遊び方を伝えずに、自由にさせることにより、自分たちで遊び方を工夫する姿が見られた。
- ・丸太の上を歩くことやターザンロープなど、はじめは補助を必要としたが、繰り返し遊んでいるうちにできるようになった。
- ・親子や親子同士でコミュニケーションをとりながら遊ぶ姿がたくさん見られた。
- ・講話では、運動遊びの大切さについて伝えることができた。また、質疑応答でより具体的に対話を深めることができた。
- ・二日目の活動について、自由度を高めたこと、遊びを選択できるようにしたことによって親子でより一層コミュニケーションを深める遊びにつながっていった。
- ・ボランティアが、積極的に親子とかかわりを持ったので、参加者も安心して過ごすことができた。

(4) 課題

- ・森の中で遊んでいるので、だんだん寒く感じてきた保護者が増えていった。子どもはもう少し遊びたい様子だったが、室内に戻った。活動時間についての吟味が必要である。
- ・今回は整備途中のリックの森を活用した。もう少し整備を進めると、さらに有意義な遊び場として提供できる。

担当：企画指導専門職 安達 章美